

高校生物教職員のための 発生生物学リカレント講座

2014年10月4日(土)～5日(日)

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
(神戸ポートアイランド)

詳しくは裏面およびホームページへ!
www.cdb.riken.jp/recurrent/2014





高校生物教職員のための「発生生物学リカレント講座」2014

主催：理研 発生・再生科学総合研究センター、日本発生生物学会

高校の教職員が生き生きと生物の不思議を語り得ることは、将来の生命科学の発展、さらには我が国における科学学術文化の継承と発展に不可欠です。そこで、理化学研究所 発生・再生科学総合研究センターと日本発生生物学会は、高校における生物学教育の一層の充実を支援するため、生物教職員の皆さまを対象とした2日間の研修会「発生生物学リカレント講座」を開催いたします。是非ご参加下さい！

●プログラム

「発生と細胞分化」をテーマにレクチャーと実習で構成した2日間のプログラム。レクチャーは本講座のオーガナイザーでもある八杉貞雄先生、脊椎動物の進化を研究する倉谷滋先生が最新の知見を解説します。実習では、学校で実践可能なニワトリ胚の発生観察法を紹介します。さらに、胚の各器官から細胞を培養し、分化した各種細胞を観察する実習や、培養細胞を用いてカドヘリンの機能を観察する実習を行います。

●講師

八杉貞雄（首都大学東京名誉教授）、倉谷滋（理研CDB形態進化研究グループ）、石井泰雄（京都産業大学助教）、薄井芳奈（兵庫県立須磨東高校教諭）

●スケジュール

10月4日（土）10：00～17：00

午前 レクチャー
「カメはどのように進化したか」（倉谷滋）
午後 実習
ニワトリ胚の培養・観察法
ニワトリ胚からの初代細胞培養

10月5日（日）10：00～15：00

午前 レクチャー
「発生における遺伝子の役割—消化器官形成を例として—」（八杉貞雄）
午後 実習
ニワトリ胚からの細胞培養の続き
カドヘリンの機能観察

●参加対象

高等学校等の生物学担当教職員で両日とも参加できる方。

●会場

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター（神戸市中央区港島南町 2-2-3）
JR・阪急・阪神・地下鉄三宮からポートライナーで12分、医療センター駅下車すぐ

●申し込み方法・お問合せ

1)お名前、2)学校名、3)連絡先（住所、電話およびEmail）、4)生物教職員としての指導年数をご記入の上、EmailまたはFAXで**2014年9月30日(火)まで**にお申し込み下さい。なお、定員20名を超えた場合は抽選の上、10月1日までに結果をお知らせします。

お申込み・お問合せ先：

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 国際広報室 担当：南波・泉
Email: recurrent@cdb.riken.jp FAX：078-306-3090 TEL：078-306-3092

●その他

*参加費は無料ですが主催者による交通費・宿泊費等の支給はありません。*本研修会は兵庫・京都・大阪の各府県教育委員会の後援申請中です。なお、他地域の方もご参加いただけます。*プログラム内容は変更する場合がありますので予めご了承ください。*最新の情報は www.cdbriken.jp/recurrent/2014 でご確認ください。

●高校生向け講座について

本講座の実践編として「高校生のための発生生物学実習講座」を12月25日（木）～26日（金）に開催します。本講座に参加された方の中から、12月の講座に生徒を連れて指導役（TA）として参加できる方を募集します。詳しくは本講座にてご案内いたします。

■ 昨年までの様子

